

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(1/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
次世代エネルギー・モビリティ創造特区 (豊田市)	4.8	4.9	4.1	5.0	<p>・市域全体を対象に民生・運輸・産業の全部門にわたるCO2排出削減、経済活性化、市民満足度の向上という包括的な目標を定めた特区であるが、スマートハウスの導入、サステナブルプラントの整備、次世代自動車の購入補助件数、企業誘致など重要な指標について目標を上回る達成を実現しており、その取組みもしっかり行われていることから、取組み全般にわたり著しく優れている。</p> <p>・全国初で豊田市独自のスマートハウス減税、サステナブルプラント設備投資への利子補給、次世代自動車購入補助などのインセンティブ活用をもとに丁寧な普及促進を進めている。あわせて、充電設備などのインフラ整備の進展に期待したい。</p> <p>・エコフルタウンリニューアル、SDGs未来都市選定、未来都市とよたビジョンを活かし、エネルギー・モビリティまちづくりのさらなる進展が期待される。</p> <p>・今後、創出される技術の国際標準化の事例の出現が期待される。</p>